

■【バス業界初導入】バスの車内アナウンスの翻訳情報が手元のスマートフォンに表示される

東急バス×ヤマハ Sound UD 化プロジェクト

「おもてなしガイド」を活用した実証実験の実施について

-日本語、英語、マレー語、アラビア語、デンマーク語の5カ国語で展開-

ヤマハ株式会社
東急バス株式会社

ヤマハ株式会社（本社：静岡県浜松市、代表取締役社長：中田卓也、以下、ヤマハ）と、東急バス株式会社（本社：東京都目黒区、代表取締役社長：山口哲生、以下、東急バス）は、東急バスの100%出資子会社である株式会社東急トランセが運行する代官山循環バスの車内アナウンスにヤマハが開発した「おもてなしガイド」を活用した「音のユニバーサルデザイン化」に関する実証実験「東急バス×ヤマハ Sound UD 化プロジェクト」を2015年5月15日(金)から9月30日(水)までの約4ヶ月間実施します。

代官山循環バスは、沿線にマレーシア、エジプト・アラブ共和国、デンマークなどの大使館があり、外国人のお客さまも多くみられます。本実証実験ではバス会社初の取り組みとしてバスの車内アナウンスに「おもてなしガイド」を導入し、外国人のお客さまにも利用しやすいバスを目指します。

「おもてなしガイド」の導入により、車内アナウンスが流れている時に「おもてなしガイド」アプリを利用することで、インターネットやWi-Fiに接続することなく、アナウンスの内容をお手持ちのスマートフォンで日本語、英語、マレー語、アラビア語、デンマーク語の5カ国語の文字で確認できるようになります。

東急バスは、「東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会」の開催を控え、「すべてのお客さまに安全・快適にご利用して頂きたい」という想いを実現するため、「おもてなしガイド」を活用することで、言語の違いなどにかかわらず全てのお客さまに安全、安心、快適な輸送サービスの提供に取り組めます。

ヤマハは、「おもてなしガイド」を多くの企業や自治体などと協力して普及させる「Sound UD 化プロジェクト」に取り組んでいます。「おもてなしガイド」アプリがひとつあれば、さまざまな施設や交通機関のどこへ行っても、音のユニバーサルデザインのサービスを受けられる、外国人観光客や高齢者、聴覚障がい者にも優しい社会の実現を目指しています。この度、多くの外国人が利用する東急バスと協働することで、サービスの本格化に向けた取り組みをさらに強化していきます。

両社は、今回の実証実験を通して、「おもてなしガイド」の更なる機能追加や使い勝手の向上を図り「音のユニバーサルデザイン化」を推進することで、すべての人にやさしい社会づくりに貢献していきたいと考えています。

以上



代官山循環バス 参考イメージ

本リリースに関するお問い合わせ先

<ヤマハ株式会社>

■ 報道関係の方のお問い合わせ先

広報部 広報グループ 担当：新川（あらかわ）

〒108-8568 東京都港区高輪 2-17-11

TEL 03-5488-6601 FAX 03-5488-5060

ウェブサイト http://jp.yamaha.com/news_release/

（取材申し込みや広報資料請求が可能です。）

■ 企業の方、一般の方のお問い合わせ先

事業開発部 ニューバリュー推進室 担当：瀬戸、波場（はば）

〒108-8568 東京都港区高輪 2-17-11

TEL 03-5488-5070 FAX 03-5488-6485

<東急バス株式会社>

■ 報道関係の方のお問い合わせ先

総務・人事部 総務課 担当：米澤、高橋

〒153-8518 東京都目黒区東山三丁目 8 番 1 号

TEL 03-6412-0109 FAX 03-6412-0205

■ 企業の方、一般の方のお問い合わせ先

東急バスお客さまセンター

〒153-8518 東京都目黒区東山三丁目 8 番 1 号

TEL 03-6412-0190 FAX 03-6412-0208

【別紙】

<実証実験「東急バス×ヤマハ Sound UD 化プロジェクト」概要>

- ・実施路線 : 東急トランセ 代官山循環バス
- ・期間 : 2015年5月15日(金)～2015年9月30日(水)
- ・主な対象者 : 代官山循環バスのご利用者。特に、訪日外国人観光客、耳が聞こえづらくなった高齢者など、日本語のアナウンス音声を理解することが難しい方
*一般のお客様もアプリをダウンロードすれば実証実験にご参加頂けます。
- ・内容 : 代官山循環バス車内アナウンスが流れている時に、「おもてなしガイド」アプリを開くと、アナウンスの内容がお手持ちのスマートフォンの言語設定に応じて表示されます。実験後は、対象者向けにアンケート調査を実施し、「おもてなしガイド」の本格的なサービス導入に向けた機能追加や利便性向上を図ります。



アプリ イメージ

■「おもてなしガイド」アプリ概要

日本語のアナウンス音声の翻訳情報・文字情報をお手持ちのスマートフォンからリアルタイムで確認できるアプリケーション

- ・対応環境 : iOS 7.0以降対応
*iOS版はApp Storeから無償ダウンロード可能
*Android版も7月に配信予定
- ・東急バス実証実験中の対応言語 :
日本語、英語、マレー語、アラビア語、デンマーク語
- ・おもてなしガイドウェブサイト : <http://omotenashiguide.jp/>

<たまプラーザ トレインパーク開催概要>

実証実験に先駆けて、4月30日(木)～5月6日(水)、東急田園都市線たまプラーザ駅直結の商業施設「たまプラーザテラス」で開催される東急グループによるイベント「たまプラーザ トレインパーク」にて、代官山循環バスでの実験で使用予定の「おもてなしガイド」を体験できます。

【たまプラーザ トレインパーク開催概要】

1. 開催日時 : 2015年4月30日(木)～5月6日(水)
2. 開催場所 : たまプラーザ テラス (神奈川県横浜市青葉区美しが丘1-1-2)
3. 入場料 : 無料 ※混雑時はご入場を制限する場合があります。

<「おもてなしガイド」とは>

増加する訪日外国人観光客の利便性の向上や、高齢者や聴覚障がいの方が暮らしやすい社会を目指すうえで、音声情報の内容をわかりやすい形で伝えていくことは重要です。しかし、何か国語もの翻訳音声をアナウンスしたり、音声の内容を字幕で表示したりするには、コストはもちろん、時間や表示スペース上の制約から効果的に伝えられない場合があります。

「おもてなしガイド」はこうした課題を解決すべく開発された「音のユニバーサルデザイン化」を支援する新しいシステムです。「おもてなしガイド」を利用することで、いつも流しているアナウン

スやナレーションをトリガーとして、インターネットやWi-Fi環境のないユーザーのスマートフォンに翻訳音声や文字情報を送ることができます。翻訳情報が必要のない方には、普通の音声のみしか聞こえないため、利便性が低下することはありません。既存のスピーカーやアナウンス設備などを活かしたまま導入できるため、安価かつスピーディーに「音のユニバーサルデザイン化」を実現できます。

5月1日からイタリア・ミラノで開催される「2015年ミラノ国際博覧会(ミラノ万博)」で、農林水産省および経済産業省を幹事省、国土交通省を副幹事省、日本貿易振興機構(ジェトロ)が参加機関として出展を行う日本館でも公式採用される最新システムです。

・おもてなしガイドウェブサイト：<http://omotenashiguide.jp/>

*おもてなしガイドは、ヤマハ株式会社の商標です。

*AppleおよびApp Storeは、米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。

*Androidは、Google Inc.の商標または登録商標です。

*その他の文中の商品名、社名等は当社や各社の商標または登録商標です。